

再検証・別表<京都議定書目標達成計画の「対策・施策」のうち排出削減見込量の記載のある52項目一覧>

(表中の「削減量」は「排出削減見込量」で目標計画記載の数字。丸数字はその大きい順(上位18位まで))

部門 (項目数)	対策・施策	削減量 (万トン)	不足量 (万トン)	大分類	小分類
エネ転 (4)	原子力の推進等による電力分野における 二酸化炭素排出原単位の削減 (原発) (石炭)	1700	1700 5900*a	削除 強化	他環境負荷 削減に逆行
	新エネルギー対策の推進(バイオマス熱利用・太陽光発電等)	4690	758	強化	政策弱
	コージェネレーション・燃料電池の導入促進等	1440	297	削除	未成熟技術
	バイオマスの利活用の推進(バイオマスタウンの構築)	100	100	強化	重複
産業 (7)	自主行動計画の着実な実施とフォローアップ	4240	600	強化	政策弱
	複数事業者の連携による省エネルギー	320	320	強化	重複
	省エネルギー法によるエネルギー管理の徹底(産業)	170	170	強化	政策弱
	高性能工業炉の導入促進	200	79	強化	政策弱
	高性能ボイラーの普及	130	0		
	次世代コークス炉の導入促進	40	0		
	建設施工分野における低燃費型建設機械の普及	20	20	強化	政策弱
運輸 (18)	トップランナー基準による自動車の燃費改善	2100	-158		
	公共交通機関の利用促進	380	85	強化	政策弱
	エコドライブ普及促進等による自動車運送事業者等グリーン化	130	0		
	アイドリングストップ車導入支援	60	59	削除	未成熟技術
	自動車交通需要の調整	30	30	削除	根拠不明
	高度道路交通システム(ITS)の推進	360	360	削除	根拠不明
	路上工事の縮減	50	50	削除	根拠不明
	交通安全施設の整備	50	50	削除	根拠不明
	テレワーク等情報通信を活用した交通代替の推進	340	340	削除	根拠不明
	海運グリーン化総合対策	140	140	強化	政策弱
	鉄道貨物へのモーダルシフト	90	90	強化	政策弱
	トラック輸送の効率化	760	370	一部削	根拠不明
	国際貨物の陸上輸送距離の削減	270	113	強化	政策弱
	クリーンエネルギー自動車の普及促進	300	220	強化	政策弱
	高速道路での大型トラックの最高速度の抑制	80	0		
	サルファーフリー燃料の導入及び対応自動車の導入	120	120	削除	未成熟技術
	鉄道のエネルギー消費効率の向上	40	0		
	航空のエネルギー消費効率の向上	190	0		
民生 (12)	建築物の省エネ性能の向上	2550	1572	強化	政策弱
	BEMS・HEMSの普及	1120	474	強化	政策弱
	住宅の省エネ性能の向上	850	482	強化	政策弱
	トップランナー基準による機器の効率向上	2900	-396		
	省エネルギー法によるエネルギー管理の徹底(民生業務)	300	300	強化	政策弱
	省エネ機器の買い替え促進	560	0		
	エネルギー供給事業者等による消費者へのエネルギー情報提供	420	420	強化	政策弱
	高効率給湯器の普及	340	40	強化	政策弱
	業務用高効率空調機の普及	60	21	強化	政策弱
	業務用省エネ型冷蔵・冷凍機の普及	60	34	強化	政策弱
	高効率照明の普及(LED照明)	340	326	削除	未成熟技術
	待機時消費電力の削減	150	150	強化	政策弱
	非エネ CO <sub>2</sub> (2)	混合セメントの利用拡大	111	111	強化
メタン(1)	廃棄物の焼却に由来する二酸化炭素排出削減対策の推進	550	0		
N <sub>2</sub> O(3)	廃棄物の最終処分量の削減等	50	0		
	アジピン酸製造過程における一酸化二窒素分解装置の設置	874	0		
	下水污泥焼却施設における燃焼の高度化	130	0		
	一般廃棄物焼却施設における焼却の高度化等	20	0		
HFC等 3ガス(2)	産業界の計画的な取組の促進、代替物質の開発等	4,360	0	強化	政策弱
	法律に基づく冷媒として機器に充填されたHFCの回収等	1,240	(844*b)	強化	政策弱
吸収源(2)	森林・林業対策の推進による温室効果ガス吸収源対策の推進	4767	(今回は吸収源・京都メカニズムには触れない)		
	都市緑化等の推進	28			
京メカ(1)	京都メカニズムの本格活用	2000			

(注: \*aの5900に対応する排出削減見込量はない。\*bの844は分野としてはカバーできると見て全体不足量には計上していない)